

お便りありがとうございます

お寄せいただいた意見について回答をいたします。

鉄道跡地に莫大な予算を使つての公園化にどんな未来があるのでしょうか？その他にも主に観光業に力を入れていますが、高千穂に観光に来るにも景観の保持という面では農林業にも力を入れることが今以上に必要になってくると考えています。

観光の目玉としてトロッコに乗っても、後継者不足や農家の高齢化それに伴う離農で耕作放棄地や作業が追いつかず荒れた農地も確実に増えてきます。それでもなお観光業に力を入れ、絶対に鉄道公園化事業は大事なものでしょうか？（ペンネーム：きいてください 60代・女性）

町長より

ご意見、ご質問をいただきありがとうございます。

お問い合わせの鉄道公園化構想につきましては、従来通りの事業手法で整備・運営を行うか、民間事業者と連携して整備・運営を行うかなど、どのような事業推進が財政負担を最小限にでき、かつ効果をあげていけるのか現在検討を進めている状況です。延岡駅を起点とし、槇峰～日之影間の開業が昭和14年、難工事の末に高千穂駅まで延伸できたのは昭和47年7月のことでした。高千穂鉄橋は、かつて「この高千穂の地まで鉄道を」と、長い年月をかけ運動を続けた証であり、昭和47年にやっと高千穂駅までの延伸を成し遂げたシンボルでもあります。高千穂鉄道の施設と、当時の地域の熱い思いを未来にも引き継いでいきたい、可能な限り残したいと考えております。しかし、保存するためだけに大きな投資はできませんので、観光資源として有効活用し、収益を得ることで投資を回収する仕組みを構築したいと考えております。ご指摘の通り、素晴らしい棚田の景観を守り、農地を守ることも、また農業後継者を育成することは大変重要なことであり、世界農業遺産の認定で認められた複合的な農林業の仕組みを維持していくことは、町が力を入れて取り組むべき重要な施策であると認識しております。農業分野においては、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能交付金、また県の事業や町の単独助成事業など、JAとも意見を交わしながら農業を守る、また農地を守るための支援を行っているところです。今後も、現在実証中のスマート農業の横展開を検討するほか、移住と新規就農を合わせて支援する「高千穂ファーマーズスクール」などの事業を進めてまいります。また、この鉄道公園化構想は、観光振興を図ることはもちろんですが、若い世代の仕事を創る雇用創出や、農家の皆さんの所得向上を図るための仕組みなども検討しております。若い世代の雇用の場が創出できれば、兼業にて農業にも従事でき、半農半Xという形態で若い世代が少しでも地元に残り、人口の維持と地域活性化につながるものと考えます。

高千穂鉄橋を残すことで直接的に農地は守れないかも知れませんが、高千穂のファンになってもらい高千穂にお金を落としてもらうこと、ふるさと納税等のきっかけとなり、間接的に農業振興に協力してもらうというつながりも期待されます。

今後とも、この鉄道公園化構想につきましては、観光振興だけでなく、雇用の場や関係人口の創出、また周辺地域の皆さま方との連携による地域振興など、波及効果が見込める公園として、民間事業者との連携や採算性の部分など十分な検討を行い、慎重に進めていきたいと考えますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

■あなたの年代を教えてください(✓をつけてください)

- 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代以上

■広報紙を読んだ感想やご要望を教えてください

■町へのご意見や質問、要望など何でも書いてください

ご協力ありがとうございました。内容を広報紙で紹介させていただく場合があります（その場合はペンネームを表記します）。個人情報は質問などの回答以外には利用しません。

点線に沿ってお切りください(郵便はがきも可)

図書館から本のお知らせ



ひかりの針がうたふ
 黒瀬珂瀾 著
 浄土真宗本願寺派の僧籍を持ち、富山市の願念寺の住職である黒瀬氏の第4歌集。第26回若山牧水賞受賞作品。

その本は
 ヨシタケシンスケ 著
 又吉直樹 著

芸人で芥川賞作家の又吉直樹さんと絵本作家ヨシタケシンスケさんのそれぞれが描く「その本」は、笑いあり涙あり感動ありの1冊。



谷川俊太郎
俵万智

言葉の還る場所で
 谷川俊太郎 著
 俵万智 著
 東京と宮崎という距離を超えてオンラインで語り合った対談。詩と短歌の表現上の相違点、言葉と社会のつながり、言葉と音楽、詩や短歌の翻訳について思うこと、俵万智さんが答える谷川俊太郎伝説の「33の質問」などを収録。

今月は、町内の小中学校から、40句の作品が寄せられました。

田原小1年 富高 輝 **うんどうかい**
 ゆうしようしたい
 こえをだす

田原小1年 安在 晃斗 **うんどうかい**
 りれーをがんばる
 おいぬかす

田原小1年 小山 清一郎 **あきのそら**
 もみじがゆれる
 きれいだね

上野小2年 小方 李仁 **せみのこえ**
 みんななくよ
 たのしそう

上野小2年 濱田 瑠依愛 **あつい日に**
 きれいな花や
 せみのこえ

上野小2年 佐藤 真菜 **かきごおり**
 あじがいつぱい
 えらべない

岩戸小3年 富高 匠馬 **夏休み**
 線こう花火
 楽しいな

高千穂小3年 佐藤 杏莉 **コスモスが**
 かぜにゆられて
 おどってる

高千穂小3年 甲斐 葉純 **あと少し**
 ゴールにとびこむ
 運動会

高千穂小3年 佐藤 龍之介 **流れ星**
 まつくらな夜
 おちていく

岩戸小3年 竹尾 心希 **夏休み**
 花火をやるぞ
 楽しみだ

岩戸小3年 富高 翔 **夏休み**
 虫取りいって
 楽しいな

岩戸小3年 木下 輝洋 **夏休み**
 思い出いつぱい
 さいこうだ

岩戸小3年 甲斐 翔馬 **夏休み**
 ニジマスとった
 ぬるぬるだ



家族みんなで俳句をひねろう

こうすればもっとよくなる！ 俳句づくりキホンの



どんなことを工夫すればいい？

上級テクニック「取り合わせ」

季語やテーマに合うものを取り合わせて詠む方法があります。

取り合わせのヒントは、赤いものと白いもの、大きいものと小さいもの、明るいものと暗いもの、などと大きく違うものを並べてみましょう。それぞれの特徴を強める効果があります。

他にも似たものを並べるなど自由に試してみましよう。

上級テクニック「言葉の重なり」

イメージの似た言葉が2つ以上ある時は、どれか削れないか考えよう。「夜の月」だと月が見えるのは夜だから「月」だけでも伝わりましよう。

※参考図書：親子で楽しむこども俳句塾（大高翔・著／発行・明治書院）

